新しい任期のスタートに際しての、各議員の決意をご紹介します。

つかもと正弘　市議　6期目

東日本大震災の復興を国民的な事業として取り組む中で、6期目の議員生活をスタートしました。被災された住民に寄り添って支援を進める自治体職員の姿は地方自治の原点です。大津市でも暮らしや介護・健康や教育など様々な課題を抱えた市民の願いに応える自治体らしい大津市政へ力を合わせてがんばります。

杉浦とも子　市議　4期目

新しい議員団の幹事長を務めることになりました。6名がそれぞれの力を発揮して、議員団として力を合わせて大いに豊かな活動ができるように調整していきます。

市民のみなさんと運動を広げ、公約実現へ全力で取り組む決意をしています。引き続きご支援・ご協力をお願いします。

佐々木しょういち　市議　2期目

地方分権の名のもとに、分権一括法、平成の大合併（3,232市町村が1，727に、議員数は約6万人から約3万4千人に）、三位一体の財政改革が進み、地域政党の台頭など、地方議会のあり方が転換点に立っています。地方自治の原点―住民の福祉と生活の向上に、2期目の議員としての責任の重さを痛感しています。

石黒かづ子　市議　2期目

一期目は新人議員だと許されたことでも二期目になるとそうはいきません。私のモットーである「福祉の心を市政に」。この充実に向けて力を尽くすと共に、地域の皆さんと力を合わせて要求実現にむけて頑張ります。

日本共産党市議団は女性議員が6人中4人となりました。今期は女性議員としての役割についても考えてみたいです。

岸本のり子　市議　2期目

今年度は教育厚生常任委員会の委員長をさせていただくことになりました。この4年間、「中学校給食の実現」を議会で取り上げてきましたが、これまで以上に強い要望もいただいています。子ども達の中にも広がる「貧困と格差」給食は「食育」「発達」「栄養」などを子ども達に平等に保証できる施策です。市民の皆さんと運動を広げ実現にがんばります。

きのせ明子　市議　1期目

私はこれまで、建築に関わる仕事をする中で、労働現場や暮らしの問題について多くの矛盾を感じてきました。

今回の選挙では、「若い世代がまともに働き、生活できる社会にしたい」と訴え、同じ世代の方々から、積極的な提案や要望も聞かせていただき、若者もまた、政治に関心を寄せていると実感しました。

子どもからお年寄りまで、暮らしやすい社会にするために、市政と市民をつなぐ役割を果たせるよう、若さと行動力を生かして奮闘します。

党市議団ホームページでは、各種の申し入れや見解なども掲載しています。ぜひご覧ください。

http://www.otsu-jcp.net/

自治体問題シンポジウムに参加して

「議会はどう変われるか！」―自治体議会改革と住民自治―

佐々木しょういち　市議

5月22日、自治体問題研究所主催のシンポジウム「議会はどう変われるか！」に、杉浦市議とともに参加しました。

宮本憲一氏（大阪市立大学名誉教授）の基調報告では、「地方政党の台頭や、二元代表性の危機、議員削減の流れ、地方分権の名の下で、地方自治法の基本的改正すら俎上に乗せられようとしている地方議会の危機」が指摘されるとともに、「東日本大震災とそれに続く原発災害は、住民の暮らしを守る自治体のあり方そのものを根底から考え直す必要性」を示していると提起されました。

会場では、他党派の議員とディスカッションもでき、あらためて市民の願い実現のための民主的地方議会と、住民運動の必要性を確認することができました。

５月定例市議会

【主な議案】

- ●木戸つどいの広場と東部つどいの広場の管理が、2012年度から指定管理に移行される。
- ●老朽化している「さがみ川老人憩いの家」の移転新築
- ●葬儀事業及び斎場事業の見直しについて（市営葬儀の廃止。志賀聖苑に葬祭場建設。動物炉の利用料改定。大津・志賀聖苑の指定管理移行など）

【日程】

5月 31日(火)　開会日
　　請願提出締め切り（正午）
6月　1日(水)　意見書案
　　提出締め切り（正午）
　7日(火)～9日(木)　質疑･一般質問
　13日(月)　常任委員会
　15日(水)　特別委員会
　17日(金)　閉会日

＊議会・委員会の傍聴は自由です。ぜひお越しください。インターネットでも中継をご覧いただけます(委員会を除く)。

ご意見ご要望などお寄せください。